

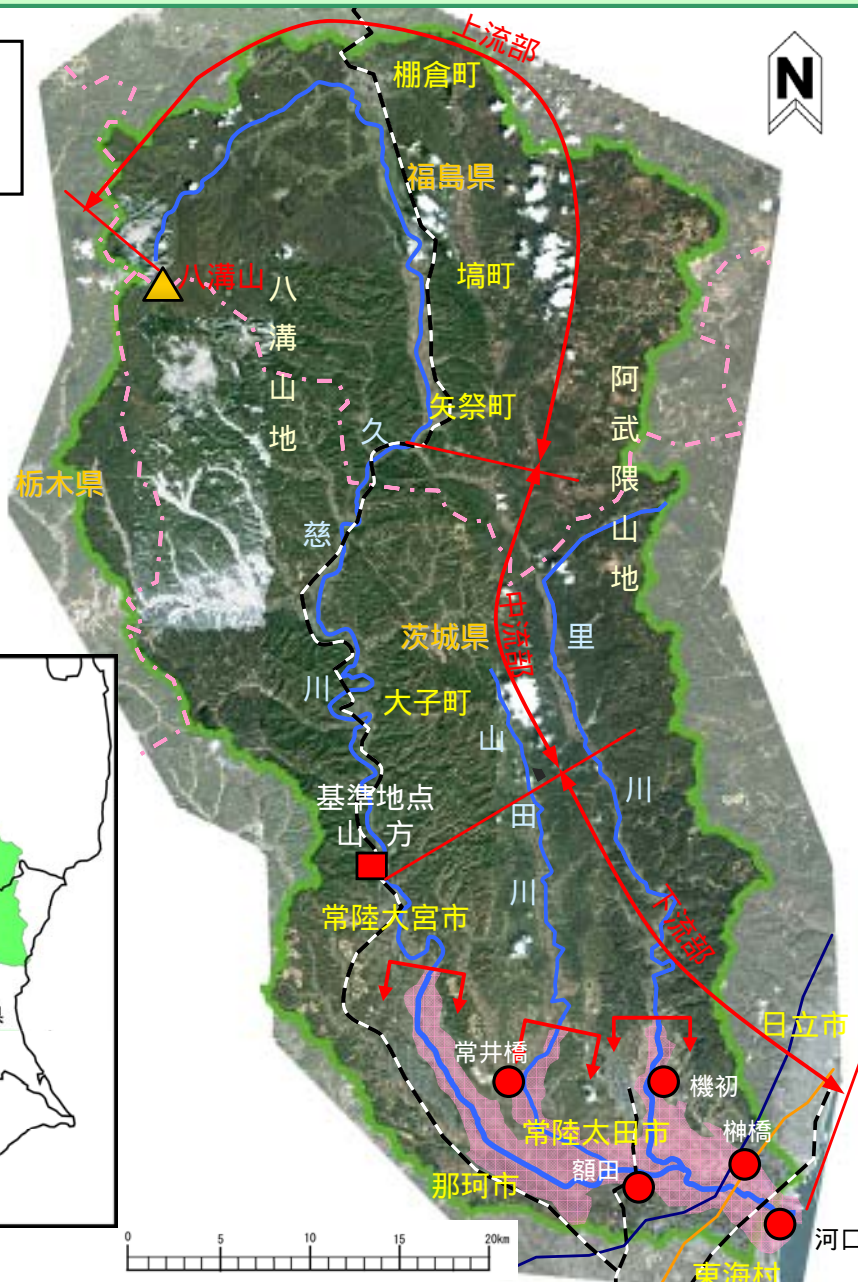
久慈川水系河川整備基本方針の概要

流域及び河川の概要

- 久慈川は、八溝山を發し上流部では山地との間の谷底平野を流れ、山間狭窄部である奥久慈溪谷を経て、下流部に広がる氾濫原において、主要支川である山田川・里川が近接して合流
- 下流部には、中核都市である常陸太田市、工業地帯や国際貿易港を有する日立市や原子力発電所を有する東海村などを有し、一度氾濫すると甚大な被害が発生
- 河道内には、江戸時代より洪水から農地や家屋を守るための竹林（水害防備林）が現存

流域面積(集水面積) : 1,490km²
 幹川流路延長 : 約124km
 想定氾濫区域内人口 : 約4万人

- 凡例
- : 流域界
 - - - : 県界
 - - - : JR
 - : 国道
 - : 高規格幹線道路
 - : 基準地点
 - : 主要地点
 - ⇄ : 大臣管理区間
 - : 想定氾濫区域

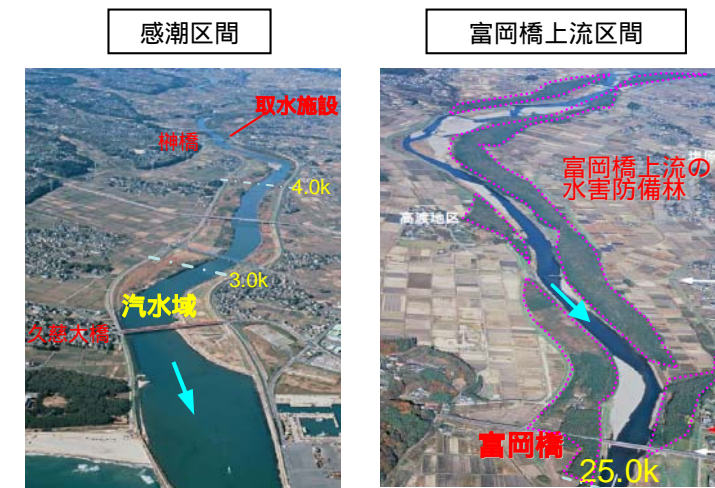
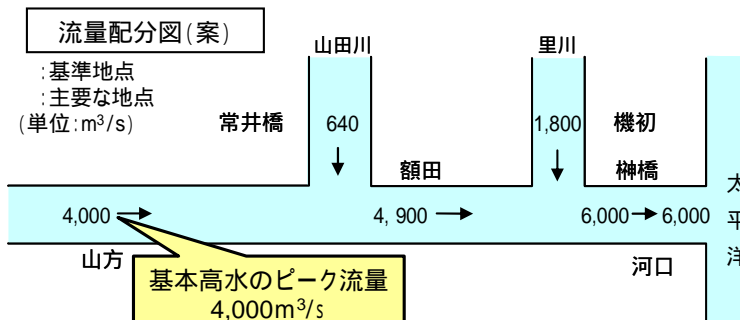


[久慈川流域位置図]

災害の発生防止又は軽減

- 工事实施基本計画策定後に計画を変更するような出水は発生しておらず、流量データによる確率からの検討、既往洪水による検討等を総合的に検討し、河川整備基本方針においても既定計画と同様に基本高水のピーク流量を基準地点山方で4,000m³/sと設定

- 基本高水のピーク流量の全量を河道で分担
- 自然環境、河川景観の保全等に配慮しながら、堤防の新設・引堤・拡築、河道掘削、樹木伐開等により河積を増大するとともに水衝部等には護岸等を整備
- 治水対策を早期かつ効率的に進めるため、輪中堤や宅地の高上げ、二線堤等の対策を検討の上、実施
- 湧水時に塩水遡上による取水障害を踏まえて、塩水の遡上状況のモニタリングを反映させて段階的な河道掘削を実施
- 水害防備林は、治水機能や景観価値等を考慮し、流水の障害をきたさないよう地域と協働した適切な維持管理を実施



河川環境の整備と保全

- 上流部では、ヤマメ・イワナ等の生息・繁殖場となっている渓流環境の保全に努める
- 中流部では、奥久慈溪谷に代表されるような渓流環境の保全に努める
- 下流部では、イカルチドリ等の生息・繁殖場となる砂礫河原やタコノアシ等の生育・繁殖場となる旧川跡地等の湿地環境の保全に努める
- 上流域から下流域のアユ・サケ等の生息・繁殖場となる区間については、瀬と淵が連続する良好な環境の保全に努める



アユの生息・繁殖場 (大子町)

イカルチドリ等の生息・繁殖場となっている砂礫河原 (常陸大宮市)

産卵のために遡上するサケ (常陸大宮市)

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

- 合理的な水利用の促進を図るなど、今後とも関係機関と連携して、流水の正常な機能を維持するために必要な流量の確保に努める
- 山方地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量は、5月1日から9月10日までは概ね10m³/s、9月11日から4月30日までは概ね3m³/sとし、以て流水の適正な管理、円滑な水利使用、河川環境の保全に資するものとする